

# 平成21年度 第4回理事会議事録

平成21年10月21日(水)19:00～23:30 於:県士会事務所

出席者:上遠野純子、畑中一枝、鈴木ひろみ、大貫操、半沢正道、道又顕、渡邊由香里、久保田美代子、  
葛西康、山田広美、監事佐藤善久 理事10名/15名、監事1名  
欠席:本地光弘、本多ふく代、鈴木真紀、吉崎勝哉、佐久間聡子、監事高橋由美

## 【審議事項】

### 1) 平成21年度補正予算について

財務部より平成21年度上半期決算と補正予算について報告された。繰越金を調整し、結果としてマイナスにはならないが、収入である県士会会費納入率が70.5%に留まっており、納入率がなかなか上がらず、収入の部に差が多いとの報告がなされた。そのため、今後支出を抑えるべきか、収入を上げるべきかについて検討し意見が出された。事業部は写真展を企画し、予算を超えており、規模の縮小やHP上での公開にしてはどうかなどの意見が出され、今後検討することとなった。会費納入率に関して、未納の会員には、事務局から個別に連絡することとなった。行き先不明な会員の扱いについては現在事務局で確認作業をしていることが報告され、各ブロック長からの呼びかけなどの提案がなされ、検討していくこととなった。事業部より収入が見込める事業を検討中であることが報告された。19年度・20年度決算との比較をし、各部で削れる部分を見直し、下半期の活動を再度整理し、全ての部で10%カットすることが決まった。

### 2) OT協会:平成22年度協会表彰・功労表彰について

協会表彰推薦対象者は香山明美氏、功労表彰推薦対象者は永沼あけみ氏に承諾を得たことが報告され、協会へ推薦していくことで承認された。

### 3) 第13回県学会の開催年度について

平成22年は全国学会があり県学会は開催しないことについては以前承認されていたが、平成23年には東北学会があり、次回どの年度に行うか話し合いがなされた。組織作りの同時進行は負担が多くなるのではないかとこの意見に対し、年度が空きすぎると学会長の組織作りが大変にならないか、時期を7月などに早めて開催してはどうか、研修会と合わせて負担を減らしてはどうかなどの提案が出され、2月の理事会で再度決を採ることとなった。

### 4) 事務局より 要回答收受文書に対する報告、審議

- ・「障害者就業セミナー in みやぎ・せんだい2009」より後援名義依頼があり、承諾することとなった。
- ・第31回日本リハビリテーション工学協会車椅子SIG講習会(2010年1月30日～31日)からの後援依頼があり、承諾することとなった。
- ・「みやぎ作業療法」販売について紀伊国屋書店より購入依頼の相談があることが報告され、今まで想定していなかったため、規定や税金をどうするかなどについて話し合いがなされた。収入につながり実績として販売してはどうかとの意見も出されたが、今回は寄贈することになった。今後多くなる見込みがあれば検討し、来年には規定を作る方針となった。

### 5) 財務部より

- ・会計内規(慶弔規定)について:対象範囲について  
慶弔規程について、対象の範囲を明確にしたほうが対応しやすいとの旨でその範囲の案が提示されたが、以前の規程で「会務執行上、必要と認められときは、会長判断で慶弔を示すことができる」としていたので、執行の融通性を加味して、そのままの規程とすることとなった。

### 6) 法人組織検討委員会

#### ・定款施行規則(案)

久保田理事より第2章「会員」・第3章「選挙」の中で修正した箇所について報告された。会員証については、財務部より来年度から了承が得られれば協会の会員証にシールなどを貼り付けるなど会員証に変わるものを発行する予定であることが報告され、その内容を削除することとなった。次

回までに第4章「会務運営」までを整理していきたいので、各局長には以前提示されていた案の内容を確認修正し、組織検討委員会まで返答していただきたいとの要望があった。

・パートタイマー就業規則（案）

久保田理事より年次休暇、給与の締切日及び支払日、時間外労働について修正案が出された。

7) 教育部より

・講師謝金について

昨年度まで基準Aには役職がある方、大学教授、著明な先生などが該当すると解釈していた。OTについては、基準Bで統一したほうがよいかとの提案がなされた。それに対し、有名な方には差額をつけていいのではないかと、質の部分が違うのではないかと意見や、現職者研修などベースは同じで分けるのはどうなのかなどの意見が出された。結果、OTでも役職ある方は、基準Aで対応していくことで再確認された。また、現職者研修など新人向けの研修会参加費については、入会金をそれに当てるなどのことも含め今後検討していくこととなった。

8) 常任理事会での審議に対する承認確認

・H23 東北学会（宮城県開催）学会長の選出について

大黒一司氏を推薦し承諾を得て、理事各位よりメールで回答10名/15名 内承諾10名であることが報告された。

・「日本集団精神療法学会第27回大会」名義後援依頼は承諾で回答済みであることが報告された。

・「第9回みやぎ地域リハビリテーション懇話会 学術集会」名義後援依頼は承諾で回答済みであることが報告された。

9) その他 渉外関係報告

・福島県理学療法士会会長 山口和之氏が衆院選比例代表当選にあたり、会長名で祝電を送ったことが報告され、了承を得た。

・監事 佐藤善久氏のご母堂逝去に際し、弔電、弔花を送らせていただいたことが報告された。

**【各部活動報告 報告事項】**

事務局 渉外部

認定審査員候補者の事前登録のため、ニュースへの経験者談の掲載と登録希望者募集案内を出す予定であることが報告された。

庶務部

自宅会員をターゲットにした部員募集も検討していることが報告された。また調査資料班が名簿の刷り合わせを実施中であることが報告された。

財務部

会計内規の交通費および日当領収書書式の改定について審議され、使用経路を書くべきか、往路・復路で距離を変えるべきなどの意見なされ、職場と事務所間で片道を2倍にすることで決まり、修正案を添付することとなった。会員証のシール化については情報収集し、検討中である。

福利部

11/14 ブロック対抗ポーリング大会があることが報告された。また、復職支援事業について企画を見当していきたいとの報告がなされた。

県学会実行委員会

第6回実行委員会を開催したことが報告され、当日理事・部局の手伝いの依頼があった。

次回 第3回常任理事会 :平成21年12月15(火) 19:00~県士会事務所

第5回 理事会 :平成22年2月15日(月) 19:00~県士会事務所